

- 5月14日に開催された、「平成29年度 狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」の、展示ブースにて、今年、完成25周年を迎えた「境川排水機場」の役割を知って頂くパネルを展示しました。
- 当日は、訓練を見学しに来た一般客の方々が、ブースに立ち寄り、防災に関する紹介パネルと合わせて、職員の説明に耳を傾けていました。
- また、洪水に対する住民の意識啓発を目的として、災害対策車両等も展示しました。

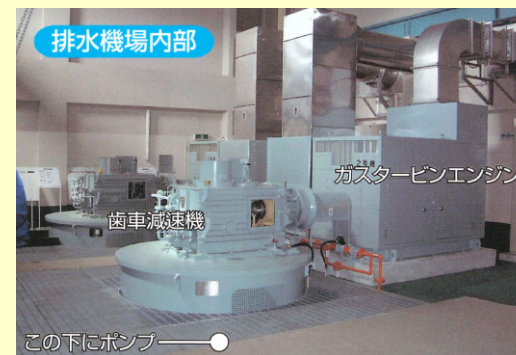
排水機場の概要



- ・一級河川狩野川と境川の合流部付近の、三島市長伏地区、御園地区、清水町的場地区等では、大雨の際には、境川からの自然流下ができず、過去に浸水被害を受けており、これらの被害を軽減するため、 $7.5\text{ m}^3/\text{s}$ のポンプ機能をもつ「境川排水機場」を設置しました。
- ・境川排水機場は、昭和62年より工事に着手し、今年で稼働開始から25年を迎える施設です。



境川排水機場



境川排水機場内部写真

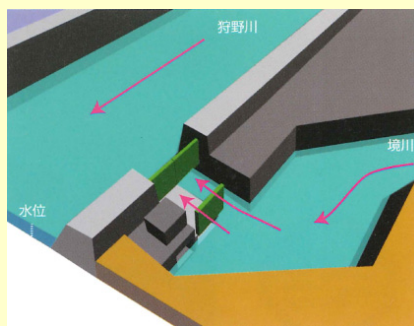


過去の浸水被害写真
(清水町的場地区 昭和49年)

排水機場の役割

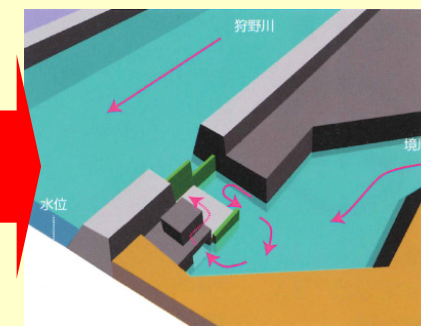
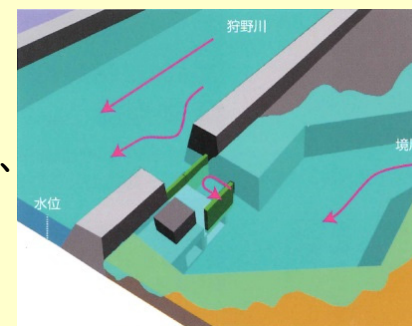
● 普段のとき

樋門のゲートを開けて境川の水を、狩野川に流しています。



● 大雨のとき

狩野川の水が逆流しないように、樋門のゲートを閉めます。そして、行き場の無くなった水をポンプによって、狩野川へ放水します。



パネル展示



展示ブースでのパネル展示

水防演習



狩野川流域における、過去最大規模の水防演習には、一般の方含め、約1,600人が参加

災害対策車両展示



会場内で照明車の展示が行われたほか、訓練内では、災対車の出動訓練も実施